

# 水を語る会

現在の会員数 一般会員 160名 団体会員 8団体 協会員 7名 (平成28年7月現在)

## 講演会の報告

### (第26回会員集会)

日時：平成29年2月18日(土)

14時～17時。

場所：日本水道会館7階会議室



久保俊裕氏

#### 講演①：『ジャパン水道と海外ビジネス』

(講師：久保俊裕氏・クボタ代表取締役副社長執行役員)、

#### 講演②：『国内外の官民連携の様々な事例について』

(講師：水谷重夫氏・水ing代表取締役社長)、

#### 講演③：『メタウォーターの目指す姿～

#### 水・環境インフラを共に支える企業グループへ～』

(講師：中村靖氏・メタウォーター代表取締役社長)

講演①では、クボタの現況から海外進出の歴史を説明。「差別化」によって中東をはじめ、アメリカでも認められる成果をあげていることと、日本のおもてなし精神がビジネスでも有効に作用していると説明された。



水谷重夫氏

講演②では、官民連携について海外5カ国の事例を紹介。中でもフランスパリの民営水道について再度公営化を掲げたが、実は人員が会社に移動しただけのことであり、実質的には官民連携が継続していると指摘。



中村靖氏

講演③では、官民連携の事例紹介後、持っている情報のアンバランスから生まれる情報の非対称性。これからの世の中は三種の神器は出てこず、多様な要望の小ロット化、モノだけでなく経験もインターネットにつながり、異業種から参入する

Tech-REX (ICT に長けた異業種) が業界を壊滅的に席卷してしまうというお話。

講演終了後、眞柄会長は日本国内の活動が世界の水ビジネスとつながることを再認識すべきと総括した。



会場の様子

## 定例幹事会の報告

日時：平成29年2月18日(土)12時～13時

場所：日本水道会館7階会議室

議題：総会日程、今後の講師・テーマの検討。

## 編集後記

私は下水道管路管理業の民間会社から「水を語る会」に参加させていただいており、毎回会員集会講演会は楽しい勉強の場でもあります。そして今回日本を代表する水道関係企業のトップ・幹部の方々のお話も大変興味深く聴かせていただきました。水道業界向け講演会というと私にとっては専門的で難しい印象でしたが、講師の皆さんのお話は、ご自身が経験された多くのご苦労や企業の独自アイデアを基とした面白いキーワードがたくさん入っており、私自身のこれから、いろいろな局面でのヒント・助言になると思います。下水道業界同僚友人にも是非聴いてほしいと思いました。(管清工業株式会社 管路管理総合研究所 坪井智礼)

◆「水を語る会」は会員集会の動画配信を行っております。ご視聴される方は、当会ホームページ記載の実施要領を基に、動画配信をお楽しみ下さい。

◆新規入会をご希望の方は、事務局までご一報下さい。詳しくはホームページをご覧ください。

→ <http://mizuwokatarukai.org/>

以上